

## 2回 かもめレガッタ

### 帆走指示書 (Sailing Instructions)

#### 1. 適用規則

- 1.1 本競技会は、セーリング競技規則(2009~2012)(以下RRSと略す)に定義された規則を適用する。但しレース公示と帆走指示書(以下SIと略す)との間に矛盾が生じた場合にはSIを優先する。
- 1.2 RRS42の違反にたいしては、付則Pを適用する。
- 1.3 RRS61.1(a)「ただし、艇体の長さ6メートル未満の艇は、赤色旗を掲揚する必要はなく、」を削除して適用する。

#### 2. 競技者への通告

競技者への通告は、テント横に設置された公式掲示板に掲示される。

#### 3. 帆走指示書の変更

SIの変更は、それが発効する当日の予告信号の60分前までに掲示される。

#### 4. 陸上で発せられる信号

陸上で発せられる信号は、次の通りとし、テント横に設置されたフラッグポールに掲揚される。

クラス旗 (音響信号1声)掲揚:当該クラスの出艇を許可する。予告信号は、降下30分以降に発せられる。

B旗 (音響信号1声)掲揚:すべてのクラスの抗議の受付を開始した。

B旗 (音響信号1声)降下:すべてのクラスの抗議の受付を締め切った。

L旗 (音響信号1声)掲揚:競技者への通告を掲示した。

#### 5. レースの日程

- 5.1 6月14日(日) OP級Aクラスの予告信号は9:55とする。OP級Bクラスの予告信号は10:00とする。  
※ 引き続き第2~第4レースを行う。  
※ 14:30以降に、予告信号が発せられることはない。
- 5.2 引き続きレースを行う場合、本部艇にAP旗(音響信号2声)を掲揚する。この場合、引き続き行われるレースの予告信号は、AP旗(音響信号1声)を降下した1分後に発せられる。引き続きレースを行わない場合は、本部船にAP・H旗(音響信号2声)を掲揚する。

#### 6. クラス旗

OP級Aクラスは黒色のOPの記章を記した白色旗とする。OP級Bクラスは赤色のOPの記章を記した白色旗とする。

OP級Bクラスに参加する艇はセールのピークに赤色のリボンを取り付ける。

#### 7. レース・エリア

レースは、葉山新港沖合いE海面とする。

#### 8. コース

- 8.1 OP級Aクラスのコースは、スタート⇒①⇒②⇒③⇒フィニッシュとする。(添付図1参照)  
OP級Bクラスのコースは、スタート⇒①⇒フィニッシュとする。フィニッシュは流し込みゴールとする。
- 8.2 予告信号以前に、スターティング・ラインのスターボード・エンドに位置する本部艇から、第1マークへのおおよそのコンパス方位を掲示する。

#### 9. マーク

- 9.1 マーク1, 2および3は黄色の円筒形ブイとする
- 9.2 スタート・マーク及びフィニッシュ・マークは、オレンジ旗を掲揚しているブイである。

## 10. スタート

- 10.1 レースは、RRS26 に基き、以下の方法でスタートする。

時間	信号	視覚信号	音響信号
スタート 5 分前	予告信号	クラス旗掲揚	短音 1 声
スタート 4 分前	準備信号	P旗、I 旗または黒色旗掲揚	短音 1 声
スタート 1 分前	1 分前信号	P旗、I 旗または黒色旗降下	長音 1 声
スタート	スタート信号	クラス旗降下	短音 1 声

- 10.2 スターティング・ラインはスターボード・エンドの本部艇のオレンジ旗を掲揚したポールとポート・エンドのオレンジ旗を掲揚したポールの間とする。
- 10.3 スタート信号から4分を経過した後にスタートする艇は、DNSとして記録される。これはRRS付則 A4.2を変更している。

## 11. 黒色旗規則違反艇の掲示

RRS30.3「黒色旗規則」が適用されたレースでゼネラル・リコール信号が発せられた場合、またはレースがスタートした後中止になった場合には、「黒色旗規則」に違反した艇のセール番号を本部艇に掲示する。

## 12. フィニッシュ

フィニッシング・ラインは、スターボード・エンドの青色旗を揚げた運営艇のオレンジ色旗を掲揚しているポールとポート・エンドのオレンジ旗を揚げたポールの間とする。  
OP 級 B クラスのフィニッシング・ラインは、本部艇付近に別途設定する。

## 13. コースの短縮または中止

- 13.1 レース委員会はRRS32の理由の他、レースがスタート後60分以内に終了しように無い場合は、コースを短縮またはレースを中止できる。
- 13.2 コースを短縮する場合は、回航マークの付近の運営艇にS旗を掲揚(音響信号 2 声)する。
- 13.3 この場合、回航マークと運営艇のS旗を揚げたポールの間を通過してフィニッシュとする。

## 14. タイムリミット

- 14.1 タイムリミットは、RS30.3 に違反しないでスタートし、かつ RRS28.1 に基き帆走したトップ艇のフィニッシュ後 15 分とする。
- 14.2 タイムリミットまでにフィニッシュしない艇は、「フィニッシュしなかった」(DNF)と記録される。これはRRS35 および付則 A4 を変更している。

## 15. 抗議および救済の要求

- 15.1 抗議しようとする艇は赤色旗を掲揚し、フィニッシュ直後に抗議の意思をフィニッシュラインの運営艇に伝えること。これは RRS61. 1(a)を変更している。
- 15.2 抗議および救済の要求は、陸上本部で用意された抗議書に記入し、その日の最終レース終了から 60 分以内に提出しなければならない。ただし、抗議締切時刻は、プロテスト委員長の裁量により延長されることがある。抗議締切時間は、公式掲示板に掲示される。
- 15.3 RRS61.1(b)に規定されているレース委員会またはプロテスト委員会による艇への抗議の通告は、抗議締切時間内に、公式掲示板に掲示される。これはRRS61.1(b)を変更している。
- 15.4 RRS 付則Pに基づきRRS42 の違反を認めた艇またはプロテスト委員会により失格とされた艇は、抗議締切時間までに公式掲示板に掲示される。
- 15.5 抗議と救済の要求の審問は、陸上本部において、締切時刻後できるだけ早く、ほぼ受付順に行われる。審問の当事者および証言者の氏名と審問開始時刻は、抗議締切時間から 30 分以内に公式掲示板に掲示する。
- 15.6 SI17、18、19、20及び22の違反は、艇による抗議の根拠とはならない。これは、RRS60.1(a)を変更している。これらの違反に対してはプロテスト委員会の裁量によるペナルティー(失格を含む)が課せられることがある。

## 16. 得点

- 16.1 本大会は4レースを予定するが、1レースの完了をもって成立とする。
- 16.2 RRS 付則A4に規定された低得点方式により得点を記録する。
- 16.3 複数の艇の合計得点と同じ場合、RRS付則A8によりタイを解く。

#### 17.申告

- 17.1 出艇しようとする艇の競技者は、大会受付所に用意される署名用紙に署名し出艇しなければならない。
- 17.2 帰着した艇の競技者は、帰着後直ちに大会受付所に用意される署名用紙に署名しなければならない。署名用紙は、その日の最終レース終了後40分間用意される。ただし、レース委員長の裁量により、この時間を延長する場合がある。
- 17.3 レースをリタイヤする選手は、リタイヤの意志を運営艇に速やかに報告しなければならない。また、帰着後は、リタイヤ報告書にその理由を記載し、レース委員会に提出するものとする。

#### 18.安全規定

- 18.1 競技者は、離岸から着岸までの間、ライフジャケットを着用しなければならない。もし、救命胴衣の浮力装置が膨張式のものであれば、海上では常に膨張させた状態で着用しなければならない。
- 18.2 十分な強さをもつ長さ8m以上のパウラインを装備しなければならない。
- 18.3 レース委員会は、危険な状態にあると判断したレース艇に対し、リタイヤの勧告または強制的に救助を行うことができる。
- 18.4 本規定に違反した場合、すべてのレース結果に対し、ペナルティーとして5点の加算を行う。

#### 19.装備の交換

損傷または紛失した装備の交換は、レース委員会の承認なしでは許可されない。交換の要請は、最初の適当な機会にレース委員会に対して行わなければならない。

#### 20.サポートボート

- 20.1 サポートボートに乗艇する者は、競技の公平さに影響を与えるような不適切な行為を行ってはならず、自らの責任で行動しなければならない。
- 20.2 サポートボートの乗艇者数は、救助活動に備え、定員の1/2以上を超えないこととする。
- 20.3 レースの準備信号から最終艇がフィニッシュするまでの間は、レース・エリアに入ってはならない。但し、レースの延期または中止あるいはゼネラル・リコールの信号が発せられた場合には、次の準備信号までは上記エリアに入ることが認められる。
- 20.4 サポートボートに対する救助活動要請は、当該クラス旗の上に本部艇に『赤十字』旗を掲揚して通告する。この要請があった場合、サポートボートは当該クラスの救助活動のためにレース・エリアに入ることができる。但し、サポートボートは、救助活動を除き、レース艇に援助を与えてはならない。

#### 21.オフィシャル・ボート

オフィシャル・ボートには、以下の旗を掲揚する。ただし、これらの旗の掲揚の誤りは RRS62.1(a)による救済の根拠にならない。

本部艇	『YJYC』旗
レース運営艇	『黄色』旗
プロテスト委員会艇	『JURY』旗

#### 22.ゴミの海上投棄

レース参加艇およびサポート・ボートは、海にゴミを投棄してはいけない。ゴミは、運営艇に預けることができる。

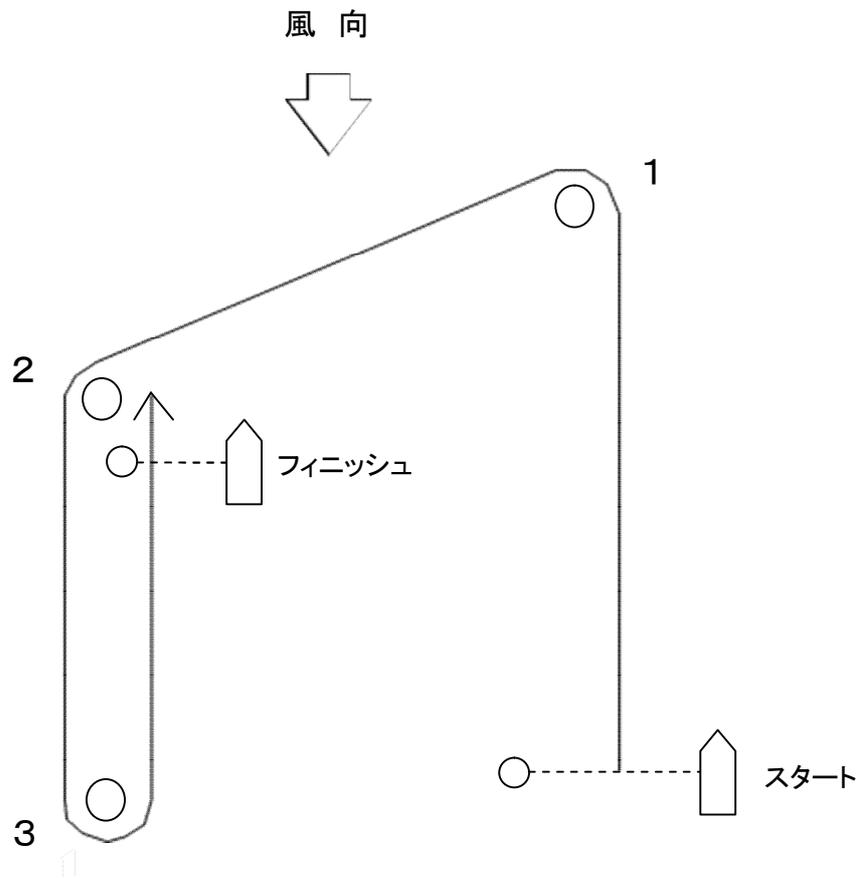
#### 23.責任の所在

本大会に参加する選手は自己の責任においてレースに参加するものとする。RRS4 参照。  
本大会の主催団体および本競技会に關与するその他すべての団体ならびにこれらに属する役員は、本大会の前後および期間中に発生した人的事故(傷害・死亡等)ならびに物的事故(損傷・盗難等)について、その責任を一切負わないものとする。

添付図 1

1. マーク1, 2及び3は、黄色の円筒形ブイ
2. スターティングラインは、スターボードエンドの本部船のオレンジ色旗とポートエンドのオレンジ色旗を掲揚したポールの間
3. OP 級 A クラスのフィニッシングラインは、スターボードエンドの運営艇のオレンジ色旗とポートエンドのオレンジ色旗を掲揚したポールの間  
OP 級 B クラスのフィニッシングラインは、本部線とオレンジ色旗を掲揚したポールの間(流し込みゴール)

OP 級 A クラス コース:S-1-2-3-F



OP 級 B クラス コース:S-1-F

